

磯浜の生き物と環境

厳しい寒さと強風が吹き荒れる季節を迎えています。海は時化（しけ）ることが多くなり、磯浜の外海（そとうみ）に面した岩場には強い波が打ちつけています（写真1）。一方、同じ時間帯の内海（うちうみ）の様子は写真2の通り、護岸によって守られ、とても穏やかです。この波あたりの違いで、そこにくらす生き物の種類に変化が見られます。例えば、外海に面した岩場ではフジツボの仲間のクロフジツボが強い波にもまれながらもしっかり岩にはりつき（写真3）、冬にはノリ（アマノリ類）が目立つようになります（写真4）。しかし、いずれも内海の岩場ではその数がとても少なくなります。

磯浜では、このような波当たりの強さだけではなく、潮の干満、水温や塩分、低質、他の生物との関係など様々な環境の違いがあり、近いグループの生き物でも分布や暮らし方に違いが見られたり、同じ種類でも形が少し違う場合もあります。そんなことを考えながら比較して観察すると、より生き物が面白く見えてきますよ。



写真1



写真2



写真3



写真4

